

第1回 平成27年 7月4日 16頁
第2回 平成30年 2月17日 18頁
第3回 平成31年 2月 9日 19頁 Ver.3
第4回 令和 2年2月15日 17頁 Ver.3

1/

令和元年度

戸倉地区

防災・安心地域委員会 活動報告

戸倉地区は、
地域委員会と2自治会
が防災活動を共催し、
成果を共有します

発表者
森田委員長



はじめに

キーワード 1、「ハザードマップ」 2、「避難所」 3、「自主防災」 4、「簡易無線」で
戸倉地区特有の活動を報告します

No.	タイトル		対象者	月日
1	「ハザードマップを読む」		研修 地域委員	6月20日
2	避難所管理者との対話		役員会 しろやまテラスセンター長と役員	7月12日
	避難所の立ち上げの3要件		研修 地域委員	7月18日
	避難所の立ち上げ準備		研修 応援隊員・地域委員・消防団員	11月17日
	避難所開設 台風19号	あきる野市開設・戸倉会館	戸倉地区在住者	10月12日
自治会開設・下宿会館と益堀会館		下宿・益堀在住者		
被災の例				
3	自主防災		地上式消火栓安全な放水	戸倉西部自治会員 8月18日
			簡易無線・初期消火・AED・救き出し	戸倉東部自治会員 10月26日
			地震初動対応・無事確認・安否確認	戸倉地区在住者 11月17日
4	簡易無線		追加配備	益堀地区各組長3名 7月18日
			送受信	簡易無線所持14名 11月17日

「ハザードマップを読む」研修

・経過

第1回研修	平成30年11月
ハザードマップ改訂版配布	平成31年2月
第2回研修(今回)	令和元年6月



・手順

- ① 白地図に自宅を記入、
- ② 次に土石流と急傾斜地の崩壊の警戒区域を記入
- ③ 自宅は警戒区域の中か・外かを自分で判定
- ④ 避難所に付き、自宅同様の手順で判定
- ⑤ 自宅から避難所迄の経路に付き、自宅同様の手続きで判定



- ・地域委員対象の 2回の研修でハザードマップを読める様になった
- ・ハザードマップは、平成30年度改訂版でわかり易くなりました

避難所その1

避難所管理者しろやまテラスセンター長と地域委員会役員の対話

令和元年7月12日

趣旨

7月18日の東京防災学習セミナー開催前に、
避難所の**認識を共有**する

確認事項

- ① 防災行政無線(固定)がある
- ② 本館用の非常発電機8時間運転がある
- ③ 宿泊者用の備蓄はある
- ④ 本館のトイレは、活用可能
- ⑤ 本館家庭科室は、炊き出しに使える
- ⑥ 本館入浴施設は、長期の場合候補
- ⑦ 体育館の問題点、雨漏り・トイレ不具合
冷暖房がない



避難所その2

避難所の立ち上げの3要件

東京防災学習セミナー

講師 地域防災支援協会 防災士 野呂順正氏

東京防災学習セミナーの経過

平成29年3月 東京防災隣組認定

平成29年7月 第1回セミナー

平成30年7月 第2回セミナー

令和元年7月今回 第3回セミナー

避難所に到着した地域委員は、

先ず何をするか

- ① 直ぐ取り組むテーマのリーダーを決める
- ② テーマ例1、居室区割り・受付を作る
- ③ テーマ例2、生活のルールを掲示する

この机上訓練を、11月17日の現場研修に
更に暫定立ち上げマニュアル作成に結び付ける



避難所その3

7月18日の机上研修に基づく、
現場研修「避難所の立ち上げ準備」
コミュニティ応援隊員、地域委員及び消防団員
平成元年11月17日 参加27名



研修「避難所の立ち上げ準備」 テーマと成果

1 班別のテーマ

1班(女性班)	女性用スペースのモデルを作る。(更衣、授乳他)
2班	居室区割り、受付、居住編成のモデルを作る。
3班	トイレの対応、特に汚物袋の集積場のモデルを作る。
4班	ペット飼育場、避難所ルールの掲示のモデルを作る。
5班	避難所運営班を立ち上げる。

2 共通のテーマ

ア	開設初日に必要な資機材をリストアップする。
イ	結論・提案を文書にまとめ提出する。

3 成果

①	認識のレベル合わせができた。
②	居室区割り図と避難所ルールを作成した。
③	暫定立ち上げマニュアルの方向が見えてきた。
④	初日に必要な資機材のリストアップが始まった。

避難所その5
研修の成果1

しろやまテラス体育館
居室区割り図

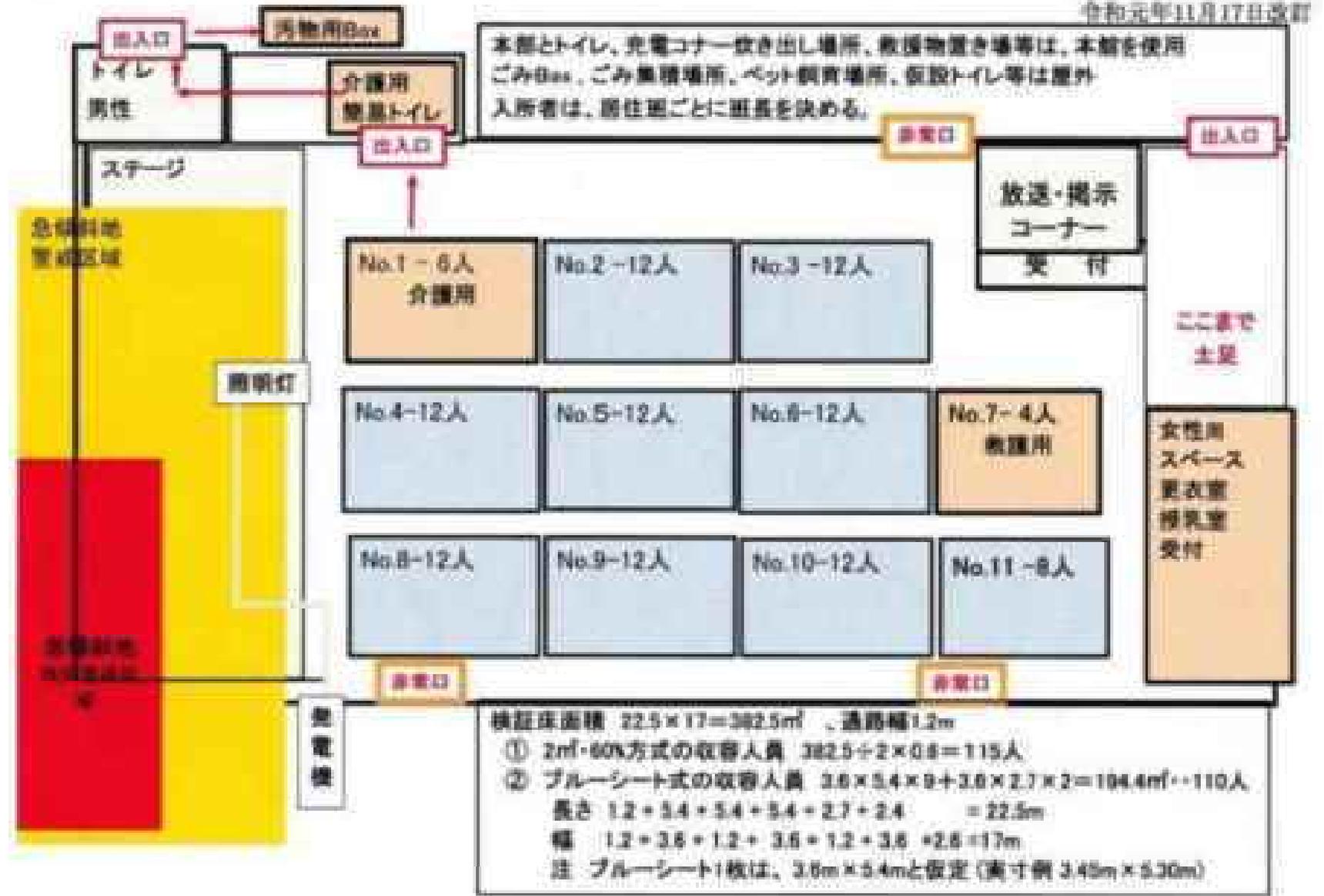
収容人員110名と推計
仮定

一人0.9×1.8メートル

通路 1.2メートル

介護・救護は

一人1.8×1.8メートル



避難所のルールの掲示は、トラブル解消に絶対必要……野呂先生談

1、	心づかい 譲り合いの気持ちを持って生活しましょう 和を乱さないよう決められたことは守りましょう お互いのプライバシーを尊重しましょう 高齢者・体の具合が悪い方・乳幼児・女性等に 気配りを心がけましょう 貴重品は、自己管理しましょう 運営は全員の分担で行いましょう
2、	禁止事項
2.1	火気厳禁 許可を受けた暖房のストーブを除きます
2.2	喫煙・飲酒・ギャンブルの禁止 喫煙は、指定の場所のみ可です
2.3	立ち入り禁止 表示のある場所は立ち入り禁止です
2.4	居室内ペット持ち込み禁止 指定のペット飼育場所です所有者の責任で 飼育とします
2.5	居室内は土足禁止 上履きを使用します
3、	トイレの注意事項 きれいに使うことを心がけ、汚したら原則本人が 清掃ください 簡易トイレの使用方法は、説明を受けるか 掲示の注意事項を確認ください トイレの清掃当番は、原則持ち回りとします
4、	ゴミの注意事項 原則、分別とします 残飯や汚物の廃棄は、特に掲示の注意事項を守り ましょう ごみ箱の清掃当番は原則持ち回りとします
5、	受付に届け出
5.1	入所と退所は、受付に届け出 入所するときは名簿に記入ください 自宅に戻る・他に移るときは、受付に届け出 ください
5.2	感染症等は、受付に届け出 腹痛・下痢・嘔吐・発熱・咳・発疹・インフル エンザやノロウイルスなどが気になるときは 受付に届け出ください
6、	その後の被災状況によっては、他の避難所に 移動頂くこともあります

避難所その7

台風19号に伴う避難所開設実績

戸倉地区在住者の避難数

避難所		単位 人
		避難者数
あきる野市開設	五日市出張所	10
	戸倉会館	45
戸倉東部自治会開設	下宿会館	8
	遊園会館	5
計		69
親族宅等		多数

10月12日 19:35 避難所戸倉会館 2階



10月12日 14:35 避難所戸倉会館1階



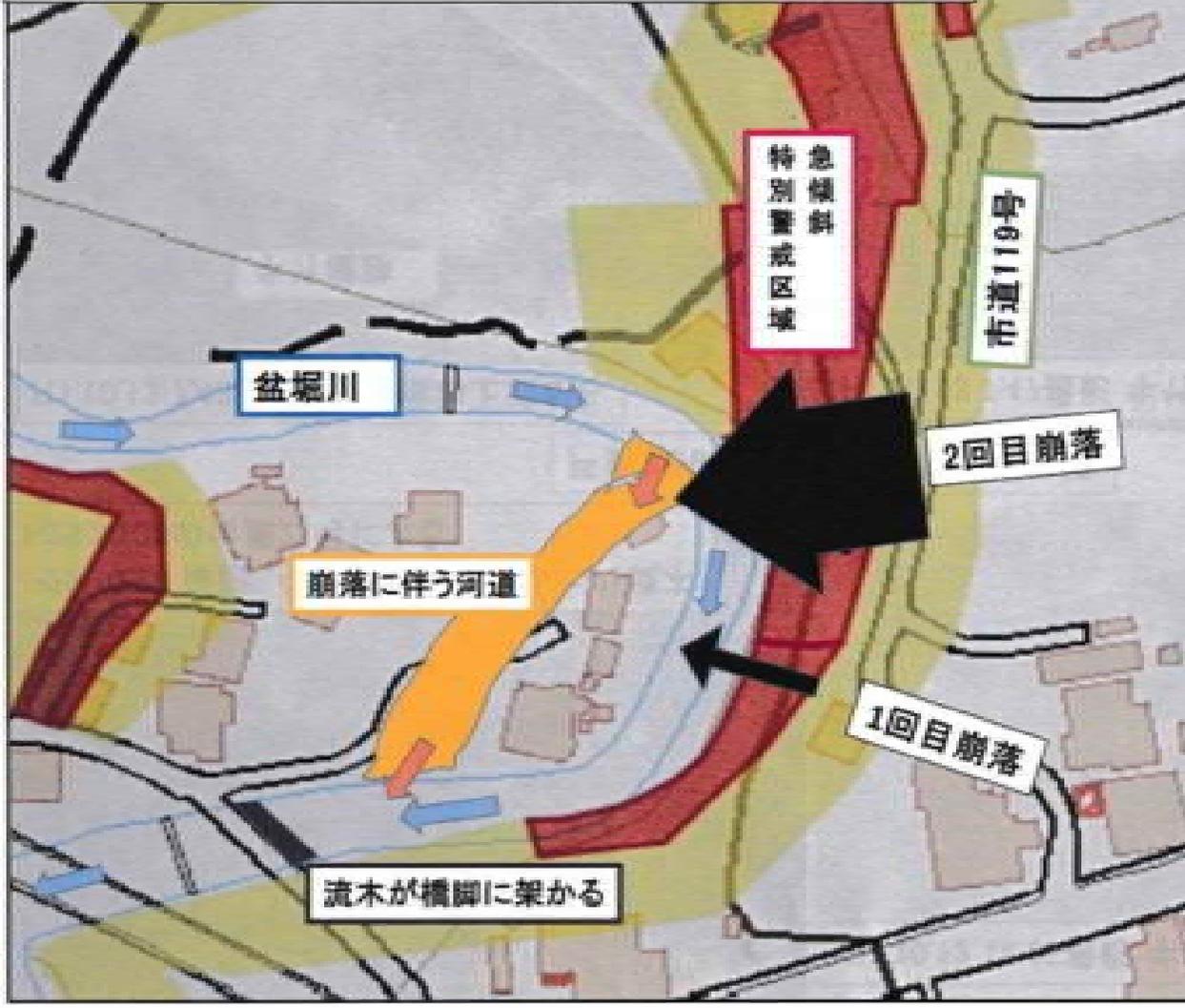
- 1、戸倉会館はスタッフとして市職員2名、地域委員4名が宿泊し、運営は市職員が主体に行った
- 2、東部・西部両自治会長は、避難の奨励と被災の状況確認
地域委員会委員長は、防災行政無線で状況報告を随時行った。
- 3、今回の災害に関する委員会の反省は、災害時対応の曖昧さにありました。行動指針が必要です。
また、夜間の見回りは特に重大な件のみとし2人以上で行動する。

台風19号による被災の例

観測点 戸倉会館
累加雨量596mm

地域委は、平成27・28年に危険箇所実地踏査で崩落箇所の亀裂の補修を確認している。

盆堀川と市道119号間の崩落とこれに伴う河道の移動



自主防災訓練その1

戸倉西部自治会

地上式消火栓の放水訓練

指導 消防団第六分団



令和元年8月18日

参加者 自治会員47名、消防団員 8名

ホース3本連結による安全な放水の方法を指導



女性と子供の参加があり、気楽で有意義な訓練になりました

自主防災訓練その2
戸倉東部自治会
令和元年10月26日
指導 秋川消防署



初期消火



簡易無線



AED



炊き出し

3回(年)目の訓練で、スムーズに進行しました。

自主防災訓練その3

「無事」旗掲出安否確認訓練

戸倉地区全戸

令和元年11月17日

「無事」旗掲出

A

B

C=B/A*100

年度	対象軒数	掲出軒数	掲出率	防災行政無線放送
H27	264軒	224軒	85%	あり
H28		236軒	89%	
H29		216軒	82%	なし
H30		186軒	70%	
R1		173軒	66%	

対象軒数264軒は、令和元年の値



組長が各戸を回り安否確認旗を確認

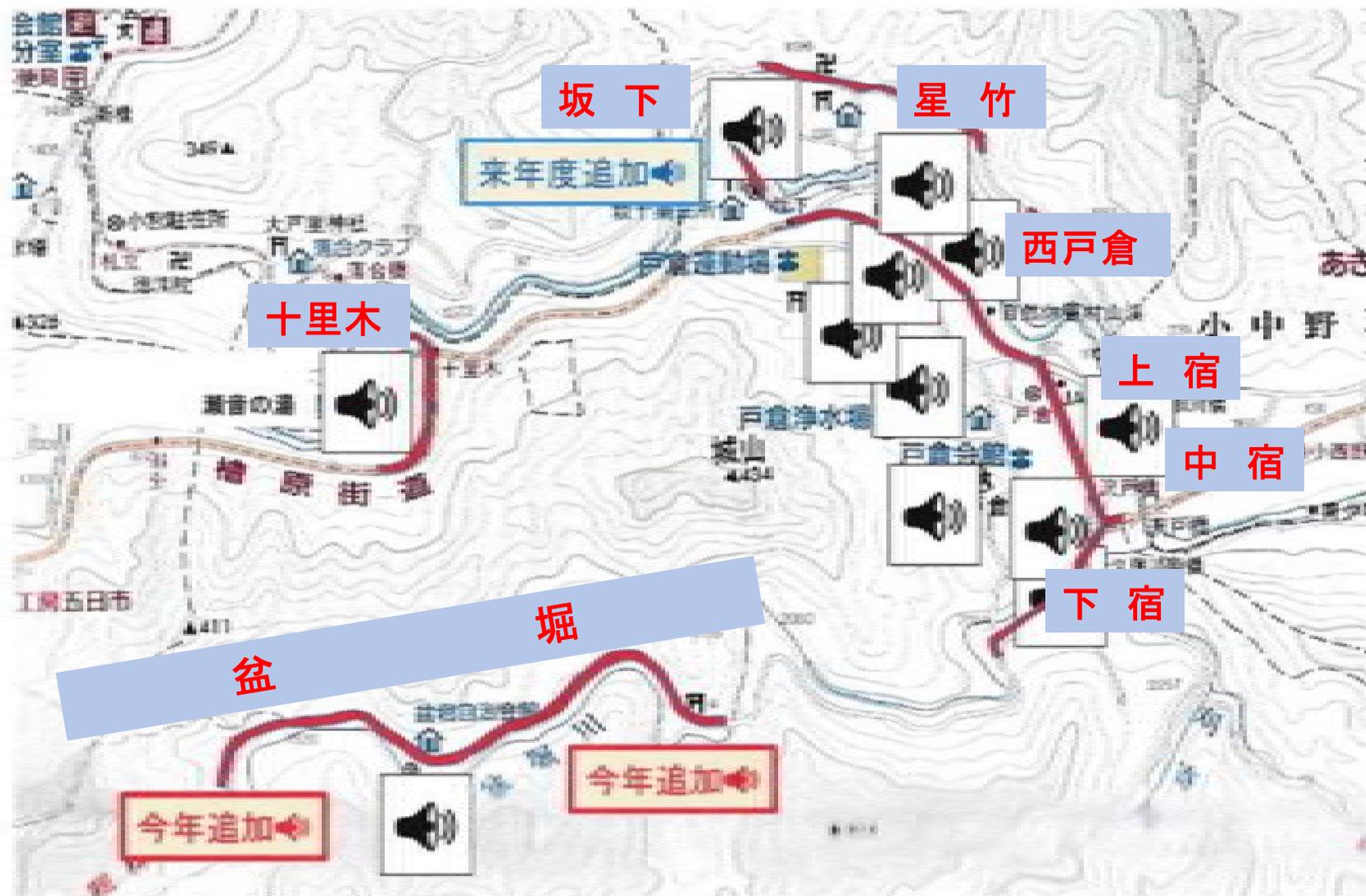
これからの安否確認

- ・「無事」旗は、従来通り**毎年1回補充の案内回覧**を回す
- ・旗を出したら、**隣家の旗を見る習慣**をつくる
- ・**不掲出宅に声掛け、在宅か・不在宅か**を確認する

簡易無線 配備先

14台の簡易無線配備先は、地区と役職を考慮した
1地区1台以上とした
盆堀地区は、細く1.7Kmと長いため今年度2台追加し3台配備とした

凡例：◀は配備済



①性能

戸倉のデジタル簡易無線VXDの仕様
外付けスピーカマイクと2倍長アンテナ



②受信感度の評価

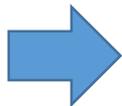
メリット番号	受信の感度
5	問題なく理解できる
4	ほぼ理解できる
3	多少雑音が入るが理解できる
2	一部聞き取りにくい
1	殆んど聞き取れない

③受信感度の記録提出

受信感度記録表		受信者				
		森田委員長	渡辺東部自治会長	福村東部副自治長	宮本東部副自治長	柴原センター長
送信者	森田委員長	本人	5	5	5	5
	渡辺東部自治会長	5	本人	5	5	5
	福村東部副自治会長	5	5	本人	5	
	宮本東部副自治会長	5	5	5	本人	5
	柴原センター長	5	5	5	5	本人

④ 維持管理

今後の訓練



台風で屋内での送受となる最悪条件を想定し、
中継を含む送受信訓練を計画する

常時充電・常時スイッチON

終わりに

キーワード毎の来年度の課題

No.	キーワード	来年度の課題
1	ハザードマップ	自治会員対象の「ハザードマップを読む」研修を検討する
2	避難所	避難所立ち上げに必要な資機材の購入を継続する 立ち上げ研修を継続し、暫定立ち上げマニュアルに反映する 地域委員の行動指針の制定に取り組む
3	自主防災	自主防災活動を自治会との共催で活性化する 防災リーダーの活動を支援する。
4	簡易無線	追加配備計画は、来年度坂下地区1台配備で終了する。 台風を想定しての中継送受信訓練を行う

以上で、「出来ることから手を付ける防災の取組」の報告を終わります